教育学会 設立70周年祝う

出席した会員ら一同

日髙総長が記念講演 ―7氏に感謝状贈呈

小中高校をはじめとした教育に携わる卒業生の会「専修大学教育学会」の設立70周年記念大会が11月23日、神田キャンパスで開かれた。会員と準会員である教職課程を履修する在学生ら約250人が出席し、節目を祝った。

一昨年は中止、昨年はオンライン開催で、3年ぶりに対面開催となった。日髙義博総長による記念講演や現職教員3氏による研究発表などが行われたほか、定期総会では会の発展に尽力した7氏に、会長である佐々木重人学長から感謝状が贈られた。

記念講演を行った日髙総長

佐々木学長(左)から感謝状が贈られた

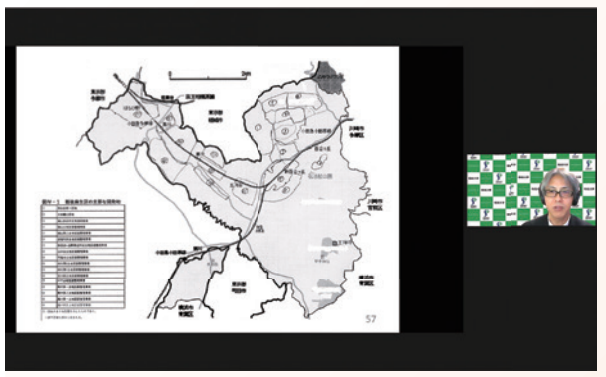
感謝状が贈られたのは、伊藤雅夫氏（昭54経済）▽長船孝明氏（昭53商）▽蔭山雅博氏(昭48文)▽神山安弘氏（昭49文）▽齋藤博志氏（昭54文）▽錦織政晴氏（昭55院文修）▽船山裕幸氏（昭53法）。

記念講演のテーマは「道徳・倫理の実相と教育―新渡戸稲造『武士道』を紐解く―」。日髙総長は、自己の留学体験や刑法学者としての考え方などを踏まえつつ、新渡戸がベルギーの法学者に「宗教なしで道徳の教育ができるのか」と問われたことに対する答えが「道徳体系としての武士道」であったと解説。「道徳は、家庭や学校などの学びや経験したこととともに、行動を通して自己の価値項目として蓄積され、『個』の確立を図るもの。経験智のない今、時代に合った指導方法を考えてほしい」とまとめた。

定期総会では佐々木学長が「教育学会は専大卒業生の先生方が現場の問題意識を共有する貴重な場」とあいさつ。松木健一理事長は「教育の在り方が変わってきているなか、本学としては人間教育を忘れてはならない」と話した。

エクステンションセンター公開講座

永江教授 小田急線沿線の歴史を解説


小田急線沿線の街の歴史を説明する永江教授

専修大学エクステンションセンター公開講座（旧講座名「歴史を紐とく」）が10月29日、オンラインで開かれた。今回は、日本経済史が専門の永江雅和経済学部教授が「川崎市小田急線沿線街づくりの1世紀」と題し、生田キャンパスと縁の深い小田急線沿線の街の成り立ちと、その後の発展について講演した。

生田キャンパスがある川崎市多摩区は大正時代から梨の生産が盛んで、交通の要衝としても栄えた。戦後は1948年に専修大学、50年に明治大学がキャンパスを構え、住宅街・学生街として発展したと説明した。

駅名の由来にもなった向ケ丘遊園は、27年の小田急小田原線開業とほぼ同時期に開園。関東有数の遊園地に成長したが、90年代に入り入場者数が減少した結果、2002年3月に閉園した。永江教授は、「当初は枡形山に開業予定だったが、調整の結果、長尾地区につくられた。『枡形山遊園地』として計画されたことを示すパンフレットが大学史資料室に残っている」と紹介した。

講演後半は、多摩ニュータウンや小田急多摩線沿線の開発について、駅誘致や土地区画整理の観点から解説した。

専大所蔵の「枡形山遊園地」パンフレット

大学院公開講座PART2

米2都市の都市政策を考察

「大学院公開講座」がオンラインで開かれた。文学研究科によるPART1に続き、11月からはPART2として経済学研究科が「企業の競争と国家・地域」を統一テーマとした講座を開講。3回目として11月18日、塙武郎教授が「アメリカの都市開発と交通マネジメント――NYとシカゴの事例――」と題した講義を行った。

表やグラフなどを用い、具体的な数値を示しながら解説した塙教授

塙教授は「アメリカの公共交通機関の利用を前提にした都市政策（TOD）の特徴と意義、それが日本へ示唆するものを検討していきたい」と前置きし、都市の再開発を進める上で、既存の公共交通システムを中心にした街づくりを行っていくことが成功のポイントだと解説した。

「交通マネジメントとTOD」については、郊外に車を止め、公共交通機関に乗る「パーク&ライド」がアメリカで発展し、交通弱者とされる「自転車と徒歩」を重視するモビリティマネジメントの研究と実践が進んでいると説明。ニューヨーク市のマンハッタン9番街では自転車の専用レーンを整備したところ、事故や渋滞が減り、店の売り上げが増えるなど街が活性化したことを説明した。

塙教授は「都市は人、経済を育てるもの。既存の公共交通機関のあり方を見直し、自転車、徒歩を中心にした街づくりを行うことが大切。日本にもこの視点が必要だ」とまとめた。

実務家を講師に招き ケーススタディ学修

寄付講座「SC特論」

ショッピングセンター（SC）の役割や課題、運営業務などを学ぶ「特殊講義（SC特論）」が後期、神田キャンパスで開講されている。商学部の奥瀬喜之教授が担当するこの科目は、一般社団法人日本ショッピングセンター協会の寄付講座で、SCの実務に詳しい外部講師を招き、ケーススタディを中心に学修している。

10月21日は、東急モールズデベロップメント（東京都渋谷区）の藤本幸蔵さんと本学OBでもある大森雅人さん(平31商)が講師を務めた。川崎市中原区にあるSCを事例として取り上げ、「SCにおけるマーケティング」について講義した。

SNSを活用したマーケティング手法を紹介した大森さん

大森さんは、「顧客コミュニケーション」をテーマに、同社が行っているグループインタビューやSNSの活用といった施策を紹介した。コロナ禍で顧客ニーズが大きく変化しているとしたうえで、「さまざまなツールを用いて双方向コミュニケーションを図り、顧客満足度を高めている」と話した。

同社が運営するSCをよく利用するという平野未唯さん（商3）は、「デベロッパー目線の具体的な話を聞くことができて参考になった。ほかのSCを利用する際も、今日学んだことを意識して買い物をしようと思う」と話した。

廣石教授に感謝状

長年にわたり海上自衛隊幹部学校で幹部教育に携わってきたとして、経営学部の廣石忠司教授に、11月18日、海上幕僚長から感謝状が贈られた＝写真。

廣石教授は人事労務管理論、労働法などが専門。2001年から幹部学校で人事管理に関する講師を続けている。

訃報

林田新二氏（はやしだ・しんじ）元文学部教授

11月10日、93才で死去。1993年から2000年まで在職。専門は哲学。

最終講義のご案内

◆白藤博行法学部教授
日時：1月18日（水）4限目
（14時50分～16時20分）
場所：神田キャンパス303教室
方法：対面